第 23 回（H25.春） 佐鳴湖水質調査の結果

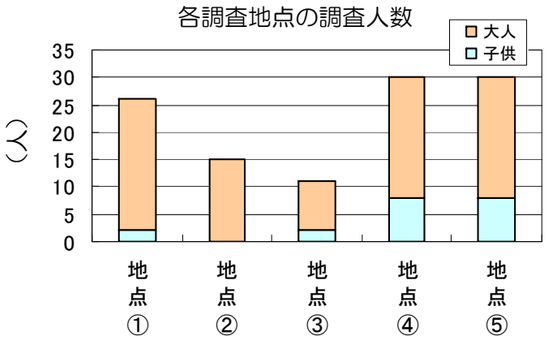
平成 25 年 6 月　清流ルネッサンスⅡ佐鳴湖地域協議会

佐鳴湖では、地域住民のみなさんに御協力いただき、水のきれいさや生物の豊かさなどを調査しています。平成 19 年 10 月から始めたこの調査は、今回で通算 23 回目となりました。

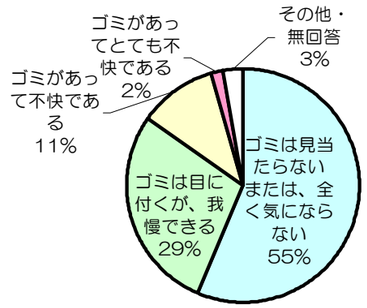
調査は大きく分けて「アンケート調査」と「簡易水質調査」の２つがあります。「アンケート調査」は地域住民のみなさんに調査地点の水を見たり、触れたりしてもらい、評価や感想を回答いただくものです。「簡易水質調査」は現地で簡単な器具を使い、水質をその場ですばやく判定するものです。それらの結果と、静岡県が詳しく測定した水質の調査結果をあわせて、「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」などの視点から、佐鳴湖の水環境を総合的に評価しています。

視点	調査の内容	
	アンケート調査	簡易水質調査
人と湖沼の豊かなふれあいの確保	ごみの量、水のにおい 湖底の様子、アオコ発生 水辺の音、水の透明さ 水とのふれあいやすさ	透視度、透明度 ｸﾛﾛﾌｨﾙの簡易確認
豊かな生態系の確保	水辺の植生 水生生物	溶存酸素(DO) ｱﾝﾓﾆｱ態窒素（NH_4-N）
湖沼の基本的特徴の表現		pH、COD

調査日時：平成 25 年5月１８日（土）
　　９時～12 時
参加人数：56 名
　　（大人 46 人、子供 10 人）
調査地点：５地点　※1 人２地点ずつ測定

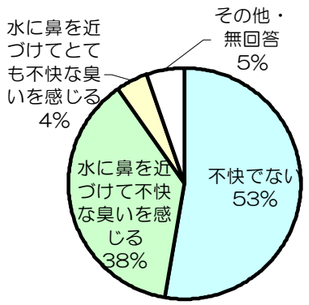


アンケート調査の結果



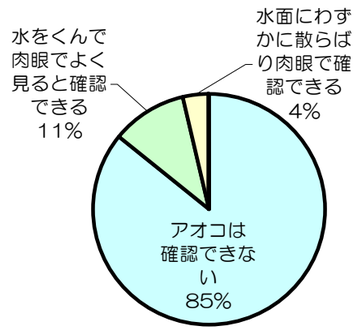
ゴミの量

55%の人が「ゴミは見当たらない、または全く気にならない」と答えました。



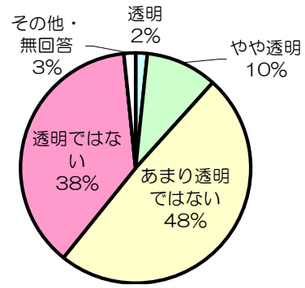
水のにおい

半数を超える人が、水に鼻を近づけても「不快でない」と答えました。



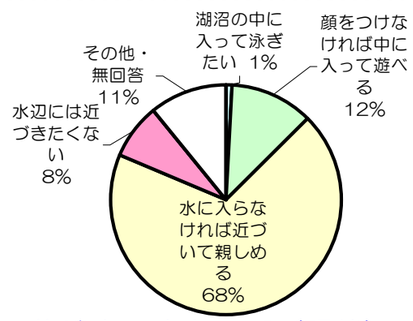
アオコの発生

「アオコは確認できない」という回答が大半を占めました。



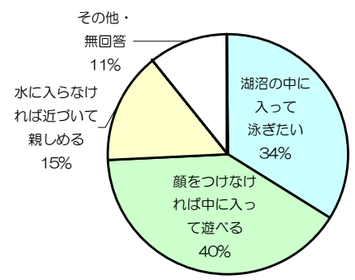
水の透明さ

「透明ではない」「あまり透明ではない」という回答が合わせて 86%でした。



佐鳴湖の水を見て（現状）

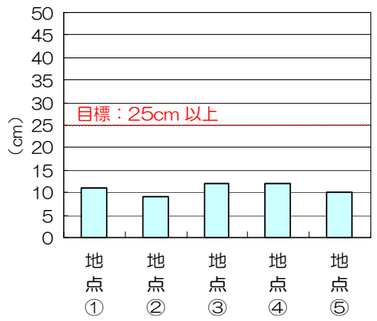
「水に入らなければ近づいて親しめる」という回答が 68%で最も多くなりました。



将来の佐鳴湖（希望）

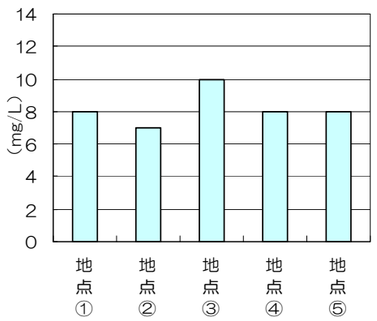
将来は「水の中に入って遊べる」佐鳴湖になってほしいという回答が 40%でした。

簡易水質調査の結果



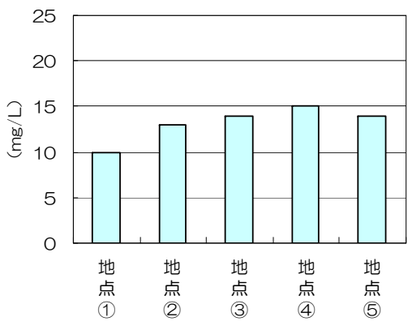
透視度

透視度（水の透明さの程度）は 9～12cm で、全体的に低くなりました。



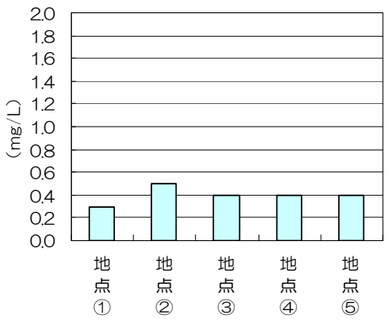
溶存酸素（DO）

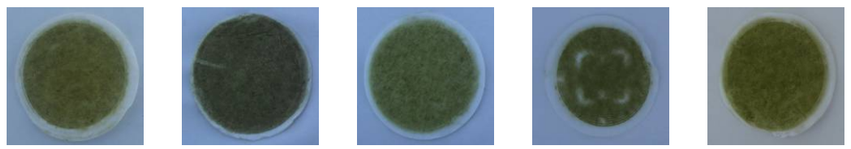
生物の生息必要な、水に溶けている酸素の量（DO）は、簡易測定で 7～10mg/L でした。



化学的酸素要求量（COD）

有機物による水の汚れの程度を表す COD は、簡易測定で 10～15mg/L でした。





アンモニア態窒素（NH_4-N）

生物の死がいなどが分解されてできるアンモニア態窒素は、簡易測定で 0.3～0.5mg/L でした。

クロロフィルの簡易確認

注射筒とろ紙を使って、200mL の水をろ過しました。ろ紙の色はどの地点も緑褐色となり、色見本の番号は No. 5 または 9 が最も近い色として選ばれました。

河川管理者（静岡県）による測定結果

測定項目	SS（mg/L）	濁度（度）	クロロフィル a（μg/L）	糞便性大腸菌群数（個/100mL）	溶存酸素 DO（mg/L）	化学的酸素要求量 COD（mg/L）	アンモニア態窒素 NH_4-N（mg/L）
調査地点①	28	46.1	147	71	8.9	8.5	0.30
調査地点②	31	44.4	114	76	6.6	7.9	0.31
調査地点③	19	33.2	99.2	70	9.0	7.8	0.29
調査地点④	44	47.4	137	60	10.7	9.2	0.30
調査地点⑤	47	37.6	103	56	8.2	9.4	0.35

溶存酸素（DO）、アンモニア態窒素（NH_4-N）については、おもに底のほうにすむ生物がすみやすい環境であるかを調べるため、底層の水を採取して測定しています。

生物調査の結果

ペットボトルで作ったしかけやタモ網を使用して、水辺にすむ生物の調査を行いました。調査を行ったのは②③⑤のあわせて３地点です。

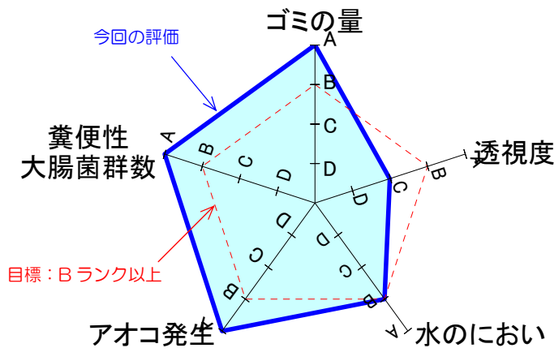
甲殻類はテナガエビ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、モクズガニなど、魚類はカワアナゴ、チチブなど湖底に住む魚が見られました。前回、冬の調査に比べると水温が高くなり、種類、数とも多く見られました。

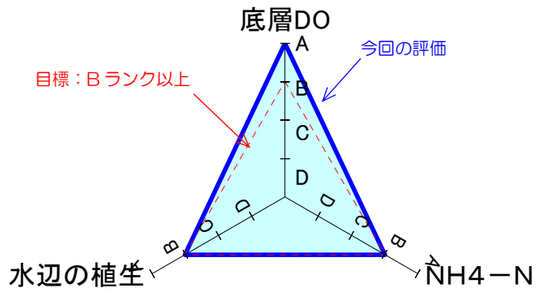
調査の後には、浜名湖名産のドウマンガニ（トゲノコギリガザミ）の放流体験も行われました。

湖沼における新しい水質管理指標（案）による評価

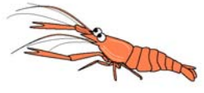
みなさんの調査の結果と河川管理者（静岡県）による測定結果を、平成 22 年度に国土交通省より発表された評価方法で評価しました。下のグラフは、今回調査した５地点の評価を項目ごとに平均したものです。佐鳴湖の当面の目標は、すべての項目でＢランク以上になることです。今回は「透視度」がＣランク、その他の項目はＢランク以上となりました。

Ａランクの数は、のべ 40 項目（８項目×5 地点）のうち 23 項目で、全体の 58%でした。





おわりに　今回もたくさんの方々に御参加を頂き、ありがとうございました。
次回は８月に調査を行います。まだ調査に参加したことがない方も、いつも参加いただいている方も、ぜひお越しください。
四季の変化を一緒に体感しましょう！！みなさんの御参加をお待ちしています。



この調査結果の詳細については、こちらまでお問い合わせください。
お問い合わせ先：清流ルネッサンスⅡ佐鳴湖地域協議会
（事務局）静岡県浜松土木事務所　企画検査課（053-458-7266）